

このページは書玄同人(全部門師範合格者)の秀作を紹介する欄です。

同人秀作

審査 大楽悠雪



渡辺 玉祥(高島)



富士原百扇(三星)



田中 彩紅(大門)



安田 恵玉(福山)



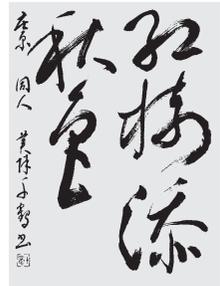
高橋 光恵(福山)



安藤 凌雲(青墨)



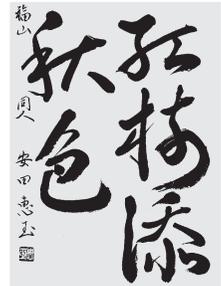
藤井 博春(福山)



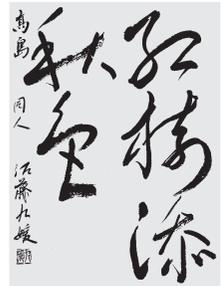
美除 千鶴(庄原)



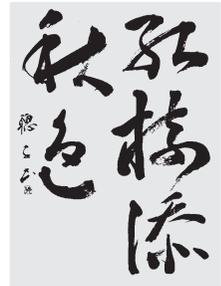
藤井 博春(福山)



安田 恵玉(福山)



佐藤 九媛(高島)



矢研田聰子(広島)



矢研田聰子(広島)



高橋 陽子(来見)



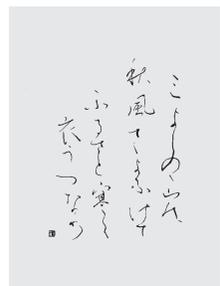
通山 佳子(福山)



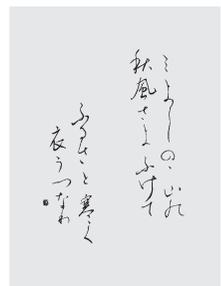
槇岡 紫風(上下)



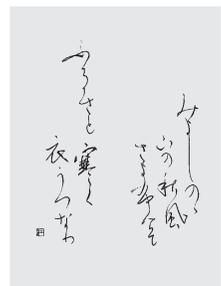
田中 彩紅(大門)



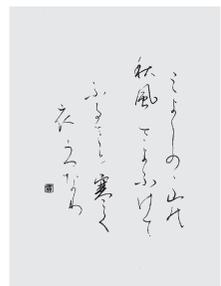
小田 遵子(西城)



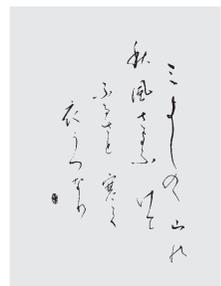
杉本 美翠(上下)



橋本 江淹(府中)



宮脇 貴子(福山)



平井恵津子(西城)

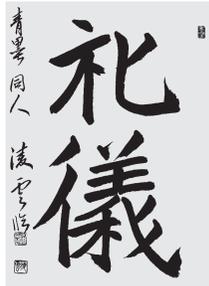
このページは書玄同人(全部門師範合格者)の秀作を紹介する欄です。

同人秀作

審査 大楽悠雪



熊谷 沙萌(三次)



安藤 凌雲(青墨)



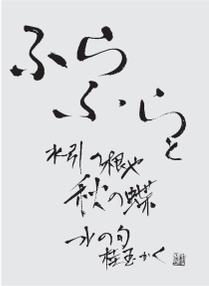
橋本 江滝(府中)



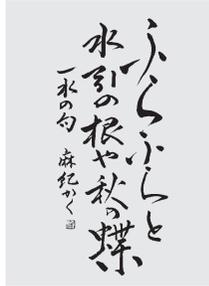
渡邊 里彩(光筆)



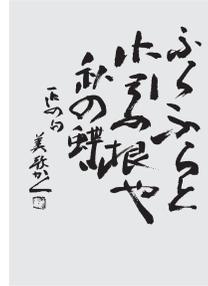
安田 恵玉(福山)



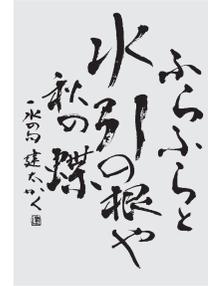
宗藤 桂玉(桂友)



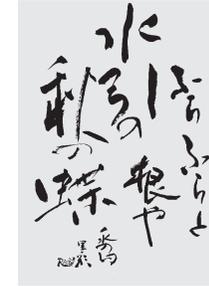
山根 麻紀(三次)



松井 美歌(賀茂)



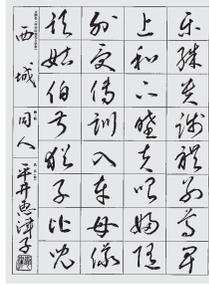
峰松 建太(道三)



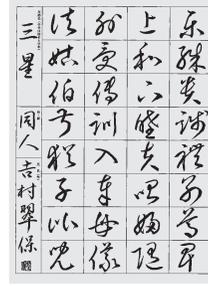
渡邊 里彩(光筆)



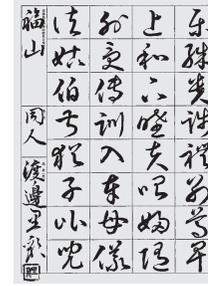
山根 麻紀(三次)



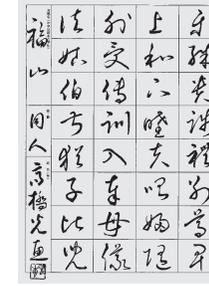
平井恵津子(西城)



吉村 翠保(三星)



渡邊 里彩(光筆)



高橋 光恵(福山)



坂田久仁子(本部)



植田 竹栄(福山)



丹木 恵香(上下)



通山 佳子(福山)



佐藤 光邦(泉)

もとも必要でありながら研究が選れている字同、それは人間心の探求である。ルソー

下釜千恵子(福山)

もとも必要でありながら研究が選れている字同、それは人間心の探求である。ルソー

宮脇 貴子(福山)

もとも必要でありながら研究が選れている字同、それは人間心の探求である。ルソー

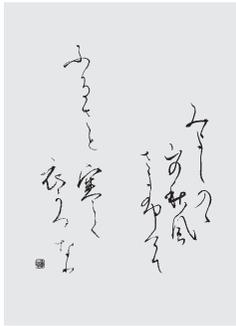
津島 久代(福山)

もとも必要でありながら研究が選れている字同、それは人間心の探求である。ルソー

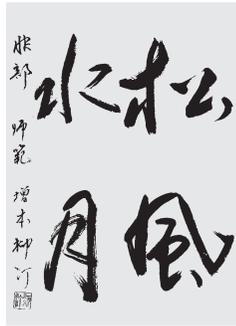
三島 晴江(府中)

もとも必要でありながら研究が選れている字同、それは人間心の探求である。ルソー

平井恵津子(西城)



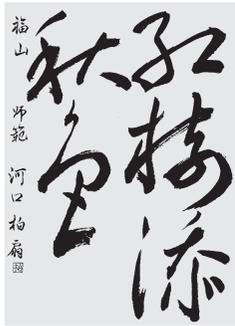
増本 柳汀(服部)
伸びやかなリズムで展開され、穂先の効いた線質が見事。構成もすばらしい。



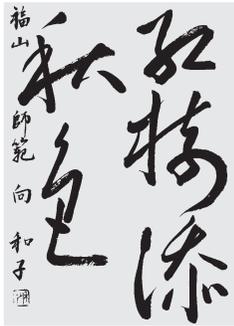
増本 柳汀(服部)
淡淡とした書きぶり。潤濁の線がすばらしい作品。



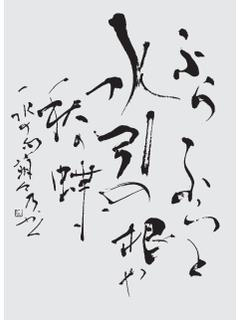
山波 登華(福山)
安定して落ち着いた作品。墨がグッと紙に入り込んだ線で力強さを感じる。



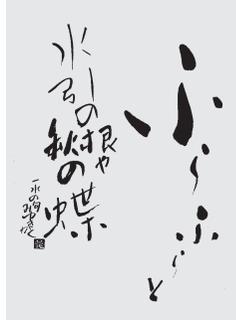
河口 柏扇(福山)
流暢な書きぶり見事。筆線鋭く生き生きとしている。



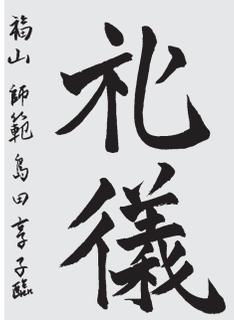
向 和子(福山)
流動的ながらしっかりした芯があり、品格が感じられる。



中田 萌々乃(上下)
引き締まった細線と濁筆が良く効いて全体をうまくまとめている。



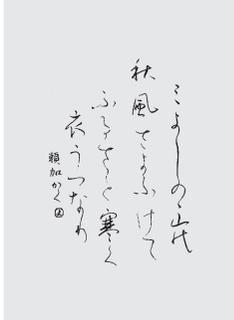
荻野 美幸(高島)
書き出しの「ふらふらと」がなんとも言えないかわいらしさを表現している佳作。



島田 享子(福山)
ゆったりと伸び伸びとした運筆でとてもチャーミングな作品です。



西原 美瑠(東城)
しっかりとした筆線がゆるぎなくさすがの作品です。



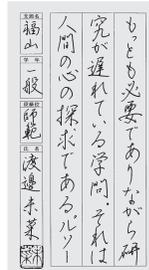
岡部 頼加(福山)
安定感のある筆線で伸びやかにで明るい作品。筆線は見事。



中田 柚乃(上下)
漢字と仮名のバランスが良い好感が持てる作となった。



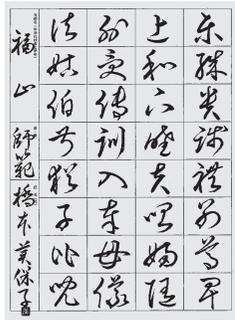
児玉志津美(三次)
大らかで充実した書きぶりが目を引く作品。



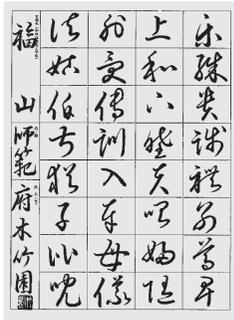
渡邊 未菜(福山)
のびやかで、安定した筆線が美しい。



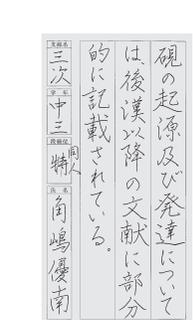
木村 真理子(福山)
全体にふわっとした感じの中にも太線を効かし、余白が美しい。



橋本 美保子(福山)
線の強弱、字形も安定してすばらしい。佳作。



府木 竹園(福山)
落ち着いた線、筆脈もすばらしい作品。



角嶋 優南 (三次中三)



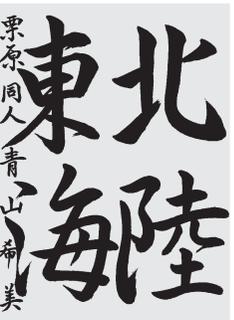
片山 蒼唯 (庄原中三)



浦川 和真 (盈進中三)



石田 雛子 (鷹取中三)



青山 希美 (栗原中三)

漢字・仮名条巾



梶井さん



梶井さん



美保子さん



美保子さん

寸評

▲漢字条幅

●四田 桜井さん・天位
筆線のうねりを効果的に生かした行草作はみごと。三ヶ所の印が作品を締めている。

●井上 尚彦さん・天位

独特の筆致による隷書作。行草作に定評がある方だが、最近は隷書に取組んでいて、書の幅をひろげている。

●吉田 光代さん・天位

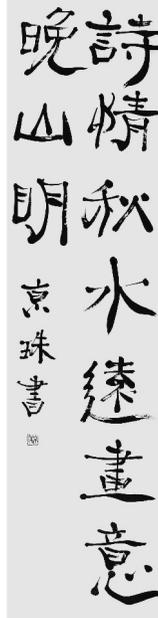
文字の大小、造形の変化を効果的に生かした行草作。「意」字の筆線に異物で飛んだようで残念。

●橋本美保子さん・天位

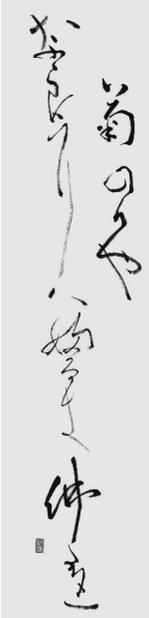
真面目に書と取り組んでいる様子が作品からもうかがえ、好感が持てる。やや圧を加え過ぎるところがあるので注意を。



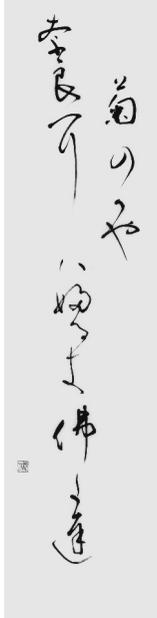
浦島 祐佳さん



京珠書



菊のや



夕のや

●浦島 祐佳さん・天位

羊毛長鋒の柔らかい毛がおりなす筆線に味がある。ただところどころ筆がとられているところがあるので注意を。

●内藤 京珠さん・天位

これ又羊毛長鋒を使った隷書作か。伸びやかな筆線が魅力的な作品。「情」「遠」字の部首はあやしい。隷書体は字典でしっかり確認すること。

▲仮名条幅

●伊藤 正子さん・天位

日頃から真剣に書と取り組む姿勢が素晴らしい。今回の仮名作、よく筆動き、筆線が美しく流れている。

●朝日 観月さん・天位

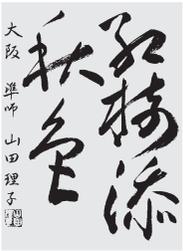
漢字の書きぶりには定評があるが、仮名もなかなかの書きぶりに感心しきり。筆先が紙にくい込みながらも軽やかに造形も確か。

おねがい

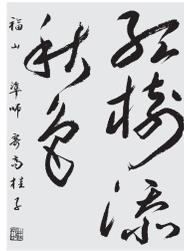
- 競書作品には、学年・段級・氏名（雅号）など自書してください。また、詩文・一字創作・仮名・条幅作品には、作品面左下に鉛筆で明記してください。
- 出品シールは競書作品とシールの支部名・学年・段級・氏名（雅号）などご確認の上、作品裏面の右下部に貼付ください。シールの記載事項に誤り（段級を除く）や変更がある場合は、その箇所を赤字で訂正したうえで、貼付出品してください。

今月の優秀作品

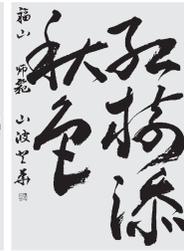
漢字規定



準師 山田 理子



準師 寄高 桂子



師範 山波 登華



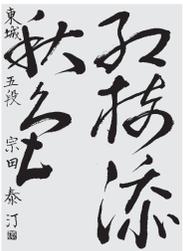
師範 守田 高生



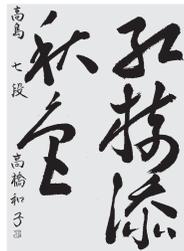
師範 浦島 祐佳



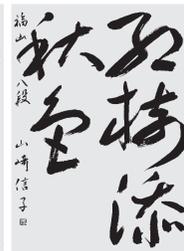
師範 近藤 容子



五段 宗田 泰汀



七段 高橋 和子



八段 山崎 信子



九段 窪岡 孝子



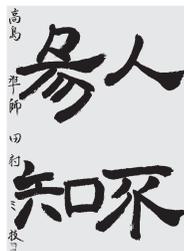
十段 渡邊 純風



十段 朝日 観月



準師 池田紀美子



準師 田村三枝子



師範 延時登貴子



師範 安中みゆき



師範 片岡 英子



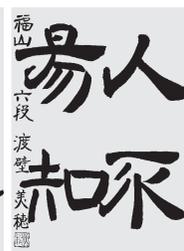
師範 川原美智子



三段 木本 寛子



五段 栗原由美子



六段 渡壁 美穂



七段 若林 都子

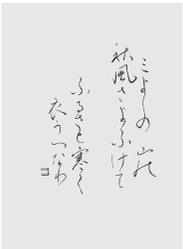


九段 窪岡 孝子

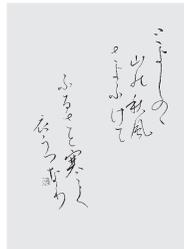


十段 齊藤 浩子

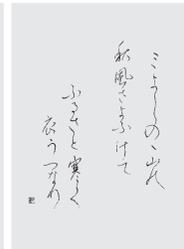
随意



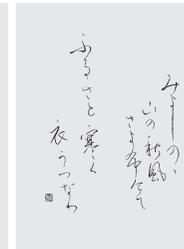
九段 田村三枝子



十段 若林 都子



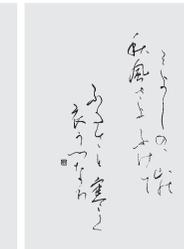
準師 池田紀美子



準師 近藤 容子

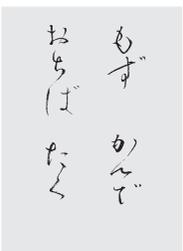


師範 穴戸須美子

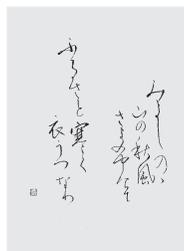


師範 中田萌々乃

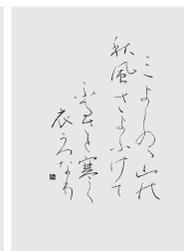
仮名規定



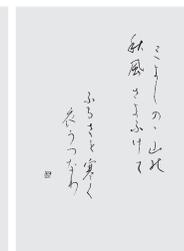
3級 重西 由起



初段 高松 暁美



初段 三島 みほ



三段 久保 祐江



五段 向田 智子



八段 馬屋原栄子

今月の優秀作品

幼年・小一



10級 名越 綺葉 9級 楨川 瑛大 7級 小野田心春 6級 白 雨菲 二段 外林はるひ 7級 三宅げんた

小二



6級 桑原 元弥 4級 長田かなな 初段 谷川 志仁 二段 山本 桜子 三段 河上 翔真 四段 平田 千織

小三



9級 肥田ふく帆 三段 角嶋 優遼 四段 野間 香帆 五段 外林 湊海 六段 坂田 莉菜 七段 胡木 陽菜

小四



6級 藤村 柚奈 5級 堀田 航平 3級 延近 菜奈 初段 金原 侑愛 四段 箱田 智勇 五段 篠原 彩恵

小五



二段 石川 來実 六段 木村 桜介 六段 松井 碧 七段 井上奈々未 九段 福原 鈴乃 特待 元広 拓馬

小六



二段 植上花風美 六段 伊田 奈央 八段 石元 百望 九段 内田 真彩 十段 高垣 雅駆 特待 森崎真里菜

今月の優秀作品

東明四段天野愛 ●の月 ●曲光 ●
 加茂八段池田祐菜 ●の月 ●曲光 ●
 府中八段長岡莉央奈 ●の月 ●曲光 ●
 駅家 ●矢壁 咲和 ●の月 ●曲光 ●
 東明特 中井結貴 ●の月 ●曲光 ●
 三次特 山本麻琴 ●の月 ●曲光 ●

中一

四段 天野 愛音 八段 池田 祐菜 八段 長岡莉央奈 十段 矢壁 咲和 特待 中井 結貴 特待 山本 麻琴

栗原 ●の落 ●美日 ●
 三和十段小川心音 ●の落 ●美日 ●
 中央中 特待菅原里美 ●の落 ●美日 ●
 暁星 特 木村心乃花 ●の落 ●美日 ●
 大門 特待 野田綺咲乃 ●の落 ●美日 ●
 城前特 伊達 幸歩 ●の落 ●美日 ●

中二

九段 松前 美佐 十段 小川 心音 特待 菅原 里美 特待 木村心乃花 特待 野田綺咲乃 特待 伊達 幸歩

一 ●東北 ●海陸 ●
 城北 特待 佐伯 美優 ●東北 ●海陸 ●
 福山特待 西谷侑里香 ●東北 ●海陸 ●
 幸十 特待 村上 琉月 ●東北 ●海陸 ●
 一 ●東北 ●海陸 ●
 幸十 特待 谷本 美羽 ●東北 ●海陸 ●

中三

特待 赤繁 直弥 特待 佐伯 美優 特待 西谷侑里香 特待 村上 琉月 特待 松葉 音々 特待 谷本 美羽

●10級 河上 愛実
 ●三段 名越 芽依
 ●二段 正野 心々
 ●6級 柘木 佑有
 ●7級 原田 梨央
 ●8級 高島有為子
 ●10級 名越 綺葉
 夕やけ空。
 赤とんぼ。
 夕やけ空。
 赤とんぼ。
 夕やけ空。
 赤とんぼ。
 夕やけ空。
 赤とんぼ。
 夕やけ空。
 赤とんぼ。
 夕やけ空。
 赤とんぼ。
 夕やけ空。
 赤とんぼ。

幼年・小一

●四段 木村 陽葵
 ●二段 河上 翔真
 ●初段 天野 叶梨
 ●3級 加藤 凛桜
 ●4級 谷川 志仁
 ●6級 廣石 光咲
 友だちと、七草を
 とりに行きました。
 友だちと、七草を
 とりに行きました。
 友だちと、七草を
 とりに行きました。
 友だちと、七草を
 とりに行きました。
 友だちと、七草を
 とりに行きました。
 友だちと、七草を
 とりに行きました。
 友だちと、七草を
 とりに行きました。

小二

●八段 坂出 悠
 ●六段 宇田 有里
 ●五段 宇崎 遥
 ●四段 横山あおの
 ●三段 外山 彩美
 ●二段 柘木 鈴
 ●初段 浜島 快都
 秋の草花で、室内を
 かざりましょう。
 秋の草花で、室内を
 かざりましょう。

小三

今月の優秀作品

小四

段落の中の大事なこと
を「要点」といいます。
【東小四】四級 延近 琴奈

段落の中の大事なこと
を「要点」といいます。
【澤生小四】七段 岡村 香依

段落の中の大事なこと
を「要点」といいます。
【萌王小四】六段 野崎 美帆

段落の中の大事なこと
を「要点」といいます。
【澤田小四】六段 中村 咲希

段落の中の大事なこと
を「要点」といいます。
【長谷小四】四段 藤巻 奏人

段落の中の大事なこと
を「要点」といいます。
【豊原小四】四級 山根 鈴葉

段落の中の大事なこと
を「要点」といいます。
【東小四】四級 延近 琴奈

- 八段 楠 幸祐
- 七段 岡村 香依
- 六段 中村 咲希
- 五段 野崎 美帆
- 四段 藤巻 奏人
- 三級 山根 鈴葉
- 4級 延近 琴奈

小五

アフリカと南アメリカ
との間には、広大な大
西洋がある。
【澤生小五】特 北山 佐和

アフリカと南アメリカ
との間には、広大な大
西洋がある。
【豊原小五】特 香川 佳穂

アフリカと南アメリカ
との間には、広大な大
西洋がある。
【幕山小五】五級 小川 愛珠

アフリカと南アメリカ
との間には、広大な大
西洋がある。
【幕山小五】五級 野間 杏風

アフリカと南アメリカ
との間には、広大な大
西洋がある。
【水谷小五】六段 山本 峻介

アフリカと南アメリカ
との間には、広大な大
西洋がある。
【萌王小五】五段 藤井 唯愛

アフリカと南アメリカ
との間には、広大な大
西洋がある。
【新山小五】五級 三宅 未紗

- 特待 北山 佐和
- 特待 香川 佳穂
- 十段 小川 愛珠
- 八段 野間 杏風
- 六段 山本 峻介
- 五段 藤井 唯愛
- 8級 三宅 未紗

小六

文字を書く時文字の中心
や点画の接し方交わり方
に注意して書きましょう。
【豊原小六】特 橋塚 菜乃

文字を書く時文字の中心
や点画の接し方交わり方
に注意して書きましょう。
【澤生小六】特 福岡 杏

文字を書く時文字の中心
や点画の接し方交わり方
に注意して書きましょう。
【吉田小六】六段 藤井 楓華

文字を書く時文字の中心
や点画の接し方交わり方
に注意して書きましょう。
【上下小六】六段 山名 陽華

文字を書く時文字の中心
や点画の接し方交わり方
に注意して書きましょう。
【平田小六】六段 藤井 湊大

文字を書く時文字の中心
や点画の接し方交わり方
に注意して書きましょう。
【踏西小六】八段 栗師寺 夏実

文字を書く時文字の中心
や点画の接し方交わり方
に注意して書きましょう。
【長浜小六】六段 渡壁 美佳

- 特待 橋塚 菜乃
- 特待 福岡 杏
- 十段 藤井 楓華
- 九段 山名 陽華
- 八段 藤井 湊大
- 八段 栗師寺 夏実
- 六段 渡壁 美佳

中一

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【東朋中一】特 平地 由依

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【東城中一】特 正野 夢々

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【誠之中一】特待 相方 結羽

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【三次中一】十段 山本 麻琴

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【中一年】九段 山 愛

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【伴中一】八段 竹内 祈

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【東朋中一】十段 天野 愛音

- 特待 平地 由依
- 特待 正野 夢々
- 特待 相方 結羽
- 十段 山本 麻琴
- 九段 山本 愛
- 八段 竹内 祈
- 五段 天野 愛音

中二

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【東城中二】特 井上 陽菜

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【野田中二】特待 箱田 悠伊

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【奈中二】特待 中村 結

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【拳十中二】十段 高津 迪花

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【鳳中二】特 林田 りら

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【葉中二】特 松前 美佐

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【踏北中二】十段 肥田 多満葉

- 特待 井上 陽菜
- 特待 箱田 悠伊
- 特待 中村 結
- 特待 高津 迪花
- 特待 林田 りら
- 特待 松前 美佐
- 十段 肥田 多満葉

中三

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【福山中三】特待 西谷 侑里香

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【薫中三】特 那須 彩香

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【鳳中三】特待 荒牧 絢

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【大門中三】特 竹川 翠咲

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【八次中三】特 門田 龍喜日

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【拳十中三】特 谷本 美羽

硯の起源及び発達について
は後漢以降の文献に部分
的に記載されている。
【城北中三】特待 佐伯 美優

- 特待 西谷 侑里香
- 特待 那須 彩香
- 特待 荒牧 絢
- 特待 竹川 翠咲
- 特待 門田 椀音
- 特待 谷本 美羽
- 特待 佐伯 美優